

近年の違法ドラッグ 乱用状況について

平成25年11月5日
あおぞら薬局 蓬萊茂希

本来、くすり・・・とは

- 病気の原因を絶つ
- 症状を改善するために使う

↑これが本来の使い方なのですが・・・

薬物乱用とは

- 医療目的でない薬物を不正に使用すること

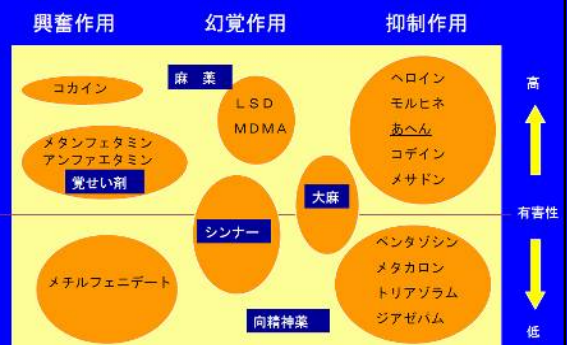
こんなにある！違法薬物



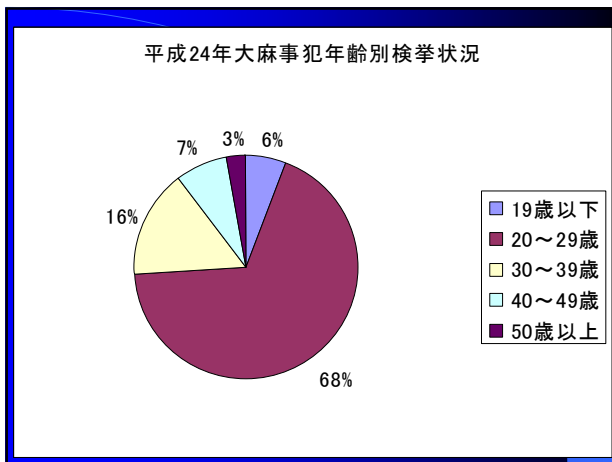
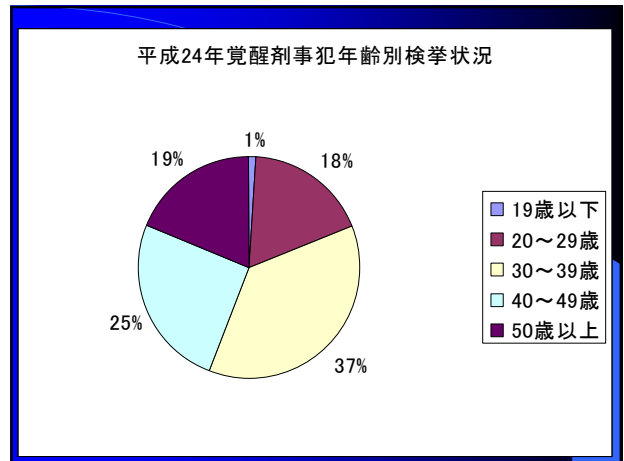
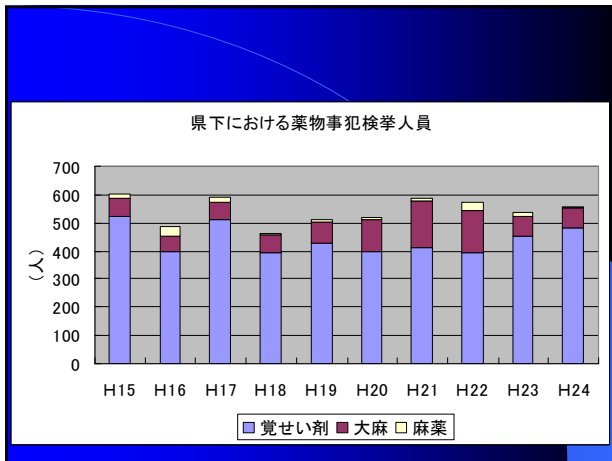
規制薬物の種類

- 覚せい剤：メタンフェタミン、アンフェタミン
- 麻薬：ヘロイン、コカイン、MDMA等
- 向精神薬：精神安定剤等
- 大麻：乾燥大麻、大麻樹脂等
- 有機溶剤：シンナー、トルエン等

依存性薬物の有害性比較(概念図)



(注1) 有害性は、依存状態における精神・身体への障害度と依存性の強さからみた乱用の拡がりの可能性の指標
(注2) 出典：薬物乱用防止の知識とその教育 (薬事日報社)



営利目的で大麻330株栽培の男を逮捕／横須賀

県警暴力団対策課と横須賀署は大麻取締法違反（営利目的栽培、所持）の疑いで、横須賀市長沢1丁目の男（44）と同市武1丁目の男（42）の両容疑者を現行犯逮捕した。

逮捕容疑は、2人は、同市建物2階で、営利目的で大麻草約330株を栽培し、乾燥大麻約3・4キロを所持していたとしている。

同署によると、2人は借り上げた工場で鉢植えの大麻草を栽培。部屋からは大麻草の育成に使用したとみられる複数台の加湿器や除草剤などが見つかった。

ハーブ吸引の事故に危険運転致死罪認める判決

読売新聞 6月10日(月)

脱法ハーブを吸ってワゴン車を運転し、愛知県春日井市で高校1年生をはねて死亡させたとして、危険運転致死罪と道路交通法違反（救護義務違反）に問われた会社役員（31）の裁判員裁判で、名古屋地裁は10日、懲役11年（求刑・懲役12年）の判決を言い渡した。

判決では、昨年10月10日午前7時40分頃、脱法ハーブの影響で正常な運転が困難な状態にもかかわらず、ワゴン車を時速70キロで運転。春日井市の市道を自転車で横断していた近くの高校1年生をはね、死亡させた上、救護しなかったとしている。

名古屋地裁は、脱法ハーブが運転に与える危険性を認識していたと判断し、より法定刑の重い危険運転致死罪などで起訴した。

違法ドラッグ

- 麻薬等と同様に多快感・快感等を高めるとして販売されている製品
- 成分が麻薬等に指定されていないことから「合法ドラッグ」「脱法ドラッグ」と称して販売されている
- インターネット等で販売されている

脱法ドラッグ: 11→12年度、患者1.2倍

毎日新聞 2013年09月07

麻薬と似た作用をもたらす「脱法ドラッグ」の使用者が医療機関を受診したり、救急搬送されたりするケースが急増している。大阪府立精神医療センターでは、2012年度の患者数が前年度の約1.2倍に増え、覚醒剤に次いで多かった。「脱法ハーブ」も脱法ドラッグの一種だが、覚醒剤より毒性や依存性が強いものがあり、違法毒物であることをもっと知ってほしい」と訴えている。

脱法ドラッグは店頭やインターネット、自動販売機で簡単に購入できる状態にある。覚醒剤や大麻のように違法という意識がなく、軽い気持ちで使う人が後を絶たない。

心臓や腎臓の疾患など合併症を起こして死亡する場合もある。「脱法ハーブ」は毒物。覚醒剤より毒性、依存性が強い」と警告している。

【ガスパン遊び】中学生が死亡していた

- カセットコンロ用などのガスを吸引し、酸欠と酩酊の狭間で一種の快楽におぼれる「ガスパン遊び」。主に10代など一部の若者を中心に地味な広がりを見せる行為だが、時に死に至るケースも少なくは無いようだ。
- 昨年11月には都内の男子中学生(14)が上述のガスパン遊びに興じていたところ、ガス吸引による窒息で死亡していたとのことだ。
- 同級生たちの話では幻覚を見たりして楽しかった。やめられなかったと話しているという。

薬物の密輸入事例

覚せい剤



覚せい剤



大麻





薬物乱用による社会的損失

1. 薬物中毒・合併症の増加
2. 犯罪や暴力行為の増加による治安の悪化
3. 犯罪組織・テロ組織の資金源となる

社会全体の悪化

